（記入例）

 教育相談票（小・中学校用）

Ｒ１．６．１６

記入者（　山　田　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな | こばやし　　みか | 男 | 　生　駒　　　　　小学校　　　　　　　　　中学校 | ５　年 |
| 名前 | 小林　実果 |
| 女 | 知的支援学級 | 自閉症・情緒障害学級 | 通常の学級 |
| 生年月日 | Ｈ２１．７．２ | 療育手帳 | 有（　　　Ｂ１　　　　） | 無 |
| 相談機関医療機関など | 宮崎たかちほ病院 | 自閉症スペクトラムの診断を受けた（Ｈ26年度）服薬あり。 |
| ひむか療育センター | 感覚統合の療育を受けている（月に１回）。 |
| 小林児童相談所 | 子育て相談（Ｈ２５）療育手帳取得（Ｈ２７） |
| 絆ファイル | 有 | 無 | 個別の教育支援計画 | 有 | 無 | 個別の指導計画 | 有 | 無 |
| 主訴（本人が困っていることを簡潔に） | * 全校集会や学校行事で、突然大声を出したり、落ち着かなくなったりする。
* 特定の友だちはいるが、積極的な関わりが少ない。
 |
| 今までの対応 | レベル１ | * 全校集会や学校行事のときは、学級担任ができるだけ近くにいて、声かけをするようにした。
 |
| レベル２ | * 支援員が横について声をかけるようにした。
* 同じ班の児童に移動や休み時間のときは、「一緒に行こう」と声をかけるように体制を整えた。学年会で他の先生の理解も得て、協力してもらった。
 |
| レベル３ | * 校内委員会において、専門的な意見を求め指導・支援に生かすことを検討した。宮崎たかちほ病院の医師に本人の特性について伺ったり、ひむか療育センターの作業療法士に療育の内容や支援についての考え方について伺ったりした。その上で指導計画の見直しを行った。
 |
| 校内委員会の方針 | * 関係機関との情報交換を定期的に行い、本人の状況を把握する。
* 本人の特性について更に詳しく知り、学校生活の中で行える支援について検討する。
 |
| 保護者の考え | * 友だちとの関わりを増やしたい。
* 将来的には、社会のルールを理解して生活できるようになって欲しい。
 |
| その他 | * 家族の仕事の関係で転校の可能性があるので、できるだけ情報をまとめておきたい。
 |